



平成26年3月期 第3四半期決算 及び 業績見通しについて

2014年2月4日

紫神声製鋼所





報告事項

- 1. 2013年度第3四半期実績
- 2. 2013年度業績見通し
- 3. 財務の状況





報告事項

1. 2013年度第3四半期実績





2013年度 第3四半期実績

	2012年度						
	上期実績	30実績	30累計	上期実績	30実績	30累計	差異
			1			2	2-1
売 上 高	8, 585	3,891	12, 477	8,893	4, 359	13, 252	+775
営 業 利 益	55	8	64	544	310	855	+790
経常 損益	Δ110	△52	△162	431	242	673	+836
特 別 損 益	△180	152	△27	73	61	134	+162
当期損益	△381	155	△226	441	196	638	+865





2013年度 第3四半期 セグメント別売上高

		2012年度			2013年度		
	上期実績	30実績	30累計	上期実績	30実績	30累計	差異
			1			2	2-1
鉄鋼	3, 836	1, 789	5, 625	3,899	2,013	5, 913	+288
溶接	420	195	616	419	222	641	+25
アルミ・銅	1, 376	613	1, 990	1, 481	721	2, 202	+212
機械	808	338	1, 147	713	305	1, 018	△128
エンジニアリング	179	92	271	208	70	278	+7
神鋼環境ソリューション	291	179	471	309	150	459	Δ11
コベルコ建機	1, 503	572	2,075	1,629	728	2, 358	+282
コベルコクレーン	221	105	327	255	143	398	+71
その他	285	159	444	321	167	488	+44
消去	△338	△155	△493	△345	△163	△508	△15
合 計	8, 585	3, 891	12, 477	8, 893	4, 359	13, 252	+775





2013年度 第3四半期 セグメント別経常損益

		2012年度			2013年度		
	上期実績	30実績	30累計	上期実績	30実績	30累計	差異
			1			2	2-1
鉄鋼	△240	△130	△370	155	130	285	+656
溶接	10	△0	10	28	20	48	+38
アルミ・銅	13	18	32	80	36	116	+84
機械	44	35	79	21	23	44	△35
エンジニアリング	8 🛆	Δ2	△10	Δ1	△15	△17	△6
神鋼環境ソリューション	3	4	7	10	4	14	+7
コベルコ建機	56	18	74	101	18	120	+46
コベルコクレーン	△8	△3	△12	17	7	25	+38
その他	21	15	37	24	17	41	+3
消去	Δ2	△7	△9	Δ7	0	Δ7	+2
合 計	Δ110	△52	△162	431	242	673	+836





報告事項

2. 2013年度業績見通し





2013年度 業績見通し

	2012年度	2013	年度	差	異
	実績	10月公表	今回見通し	対前年	対前回
	1	2	3	3-1	3-2
売 上 高	16, 855	18, 400	18, 300	+ 1,445	Δ 100
営 業 利 益	112	950	1,050	+ 938	+ 100
経常損益	Δ 181	700	700	+ 881	_
特別損益	△ 70	73	134	+ 204	+ 61
当 期 損 益	△ 269	600	650	+ 919	+ 50





2013年度 セグメント別売上高

	2012年度		2013	年度		差!	異
	実績	10月公表		今回見通し		対前年	対前回
	1	2	上期実績	下期見通し	3	3-1	3-2
鉄鋼	7, 428	7, 950	3, 899	4, 101	8,000	572	+50
溶接	822	830	419	441	860	38	+30
アルミ・銅	2,622	2, 950	1, 481	1,469	2, 950	328	_
機械	1,671	1,600	713	837	1, 550	△121	△50
エンジニアリング	464	430	208	192	400	△64	△30
神鋼環境ソリューション	726	680	309	371	680	△46	_
コベルコ建機	2,678	3, 250	1,629	1, 571	3, 200	522	△50
コベルコクレーン	455	610	255	305	560	105	△50
その他	732	690	321	379	700	△32	+10
消去	△745	△590	△345	△255	△600	145	△10
合 計	16, 855	18, 400	8, 893	9, 407	18, 300	1, 445	Δ100





2013年度 セグメント別経常損益

	2012年度		2013年度				異
	実績	10月公表		今回見通し		対前年	対前回
	1	2	上期実績	下期見通し	3	3-1	3-2
鉄鋼	△502	250	155	135	290	792	+40
溶接	21	45	28	32	60	39	+15
アルミ・銅	39	120	80	50	130	91	+10
機械	120	55	21	34	55	△65	_
エンジニアリング	Δ13	△15	Δ1	△39	△40	△27	△25
神鋼環境ソリューション	39	24	10	14	24	△15	_
コベルコ建機	68	170	101	49	150	82	△20
コベルコクレーン	△22	25	17	13	30	52	+5
その他	75	60	24	36	60	△15	_
消去	Δ7	△34	Δ7	△52	△59	△52	△25
合 計	△181	700	431	269	700	881	_
							10





	2012年度		2013		差異	
		10月公表		今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	7, 428	7, 950	3,899	4, 101	8,000	+50
経常利益	△502	250	155	135	290	+40
(内 在庫評価影響)	(△195)	(160)	(155)	(15)	(170)	(+10)

- 自動車、建設向け中心に需要は引き続き堅調に推移。
- 造船は足元の受注増加を受け手持ち工事量は下げ止まっており、建造ピッチも上向き始めた。





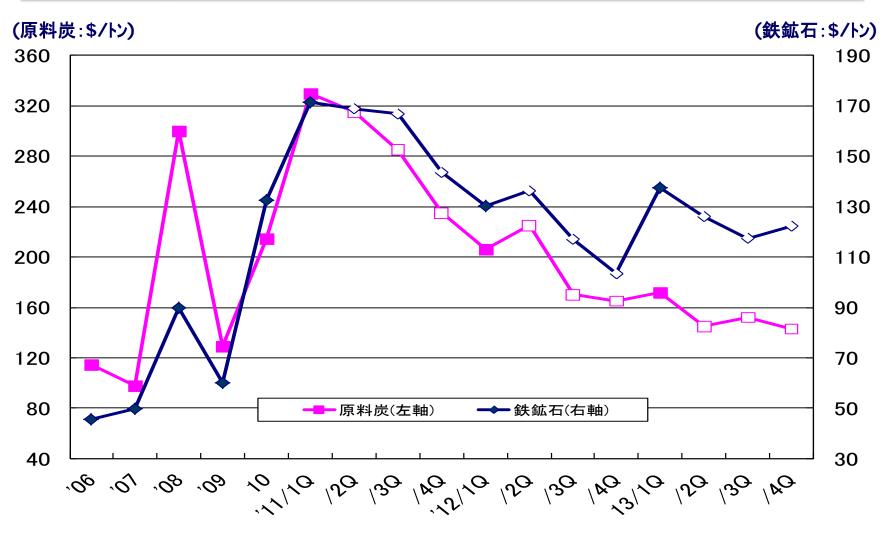
【鉄鋼】生産・販売状況

		2012年度				2013	年度
		上期	3 Q	下期	年度	上期	3 Q
全国粗鋼	(万t)	5, 476	2, 591	5, 253	10, 729	5, 578	2, 848
全国在庫水準	(万t)	568	546	541		553	<i>11月末</i> 549
薄板3品在庫水準	(万t)	416	392	385		388	<i>11月末</i> 382
国内自動車生産台数	(万台)	491	226	464	955	474	<i>10-11月計</i> 172
<当社>							
粗鋼生産	(万t)	352	173	349	701	379	191
鋼材販売量	(万t)	289	147	290	579	307	156
(内 国内)		(206)	(102)	(199)	(405)	(209)	(109)
(内 輸出)		(83)	(45)	(90)	(173)	(99)	(47)
鋼材販売単価	(千円/t)	81.1	74.5	73.4	77. 2	78.8	80.8
鋼材輸出比率(金額ペー	7)	26.1%	27. 8%	29.3%	27.6%	31.9%	29.2%





【鉄 鋼】鉄鉱石と原料炭(強粘炭)価格推移







単価の推移







【溶接】

(単位:億円)

	2012年度		2013年度					
		10月公表		今回見通し				
	実績	年度	上期	下期	年度			
		1	実績	見通し	2	2-1		
売上高	822	830	419	441	860	+30		
経常利益	21	45	28	32	60	+15		

2012年 中

<溶接材料 需要動向>

		2012		2013年度					
	上期	3Q	下期	年度	上期	3 Q			
国内需要(輸入材除く)	112	53	104	216	103	56			
<当社グループ販売状況>									
国内	65	31	59	124	60	33			
海外	102	50	98	200	96	48			
グループ合計	167	81	157	324	155	81			

• 国内は建設、自動車など需要は堅調に推移。

2012年 中

海外では石油、パイプライン等、エネルギー分野向けが堅調に推移。





【アルミ・銅】

	2012年度		2013	年度		差異
		10月公表	•	今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	2,622	2,950	1, 481	1,469	2, 950	_
経常利益	39	120	80	50	130	+10
(内 在庫評価影響)	(△25)	(5)	(5)	(-)	(5)	(-)

- 自動車向け需要は堅調。北米、中国のサスペンション製造拠点はフル生産。
- IT関連で需要の低迷感が出ている。





【アルミ・銅】需要動向と当社販売状況

(単位:千岁)

			20124	F度実績		2013年度	
		上期	3 Q	下期	年度	上期	3 Q
軽	圧品需要	997		955	1, 952	979	
	アルミ板	600		559	1, 159	574	
	アルミ押出	397		396	793	405	
	内 缶材(国内)	(218)		(196)	(414)	(217)	
伸	銅品需要	258		238	496	261	
	板 条	197		184	381	196	
	銅管	61		54	115	65	

<当社の販売状況>						
アルミ圧延品 国内	114	53	106	220	113	53
輸出	20	10	19	39	22	12
銅板条	23	9	19	42	24	12
銅 管	42	19	37	79	44	20





(単位:億円)

	2012年度		2013	年度		差異
		10月公表		今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	1,671	1,600	713	837	1, 550	△50
経常利益	120	55	21	34	55	_
受注高	1,095	1, 580	742	888	1, 630	+50

- エネルギー、化学、自動車関連向けで需要は堅調に推移。
- 一部の販売品目では激しい競争環境が継続。





【エンジニアリング】

	2012年度		2013	年度		差 異
		10月公表		今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	464	430	208	192	400	△30
経常利益	△13	△15	Δ1	△39	△40	△25
受注高	335	690	200	420	620	△70

- 今期の業績見通しは一部案件でコスト増が見込まれ、下方修正。
- 原子力関連では神鋼環境ソリューションと共同で廃棄物処理業務を受注。





【神鋼環境ソリューション】

	2012年度		2013	年度		差異
		10月公表		今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	726	680	309	371	680	_
経常利益	39	24	10	14	24	_





【コベルコ建機】

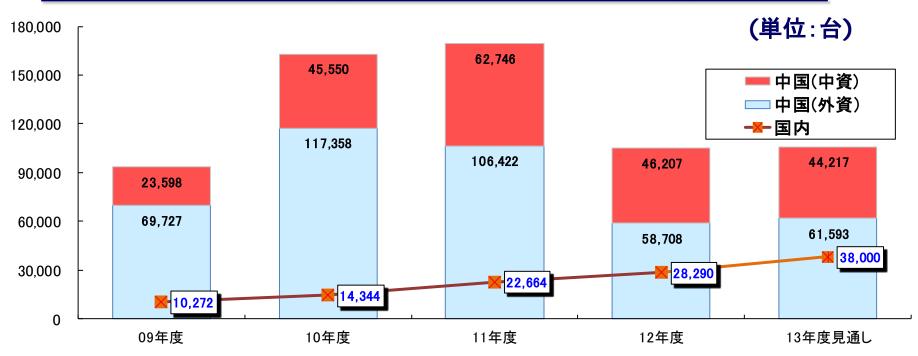
	2012年度		2013	年度		差異
		10月公表		今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	2,678	3, 250	1,629	1, 571	3, 200	△50
経常利益	68	170	101	49	150	△20

- 国内は震災からの復興、排ガス規制前の駆け込みなど、引き続き堅調な需要が継続。
- 中国では需要回復の兆しがみられ、年間販売台数は前年比6%程度増加。
- 東南アジアはインドネシアにおける通貨安や資源開発関連需要の落ち込み、タイでの 政情不安などがあり、需要が減少した。





【コベルコ建機】油圧ショベル需要動向



		2012年度実績			2013年度見通し		
		上期	下期	年度	上期	下期見通し	
国内		12, 908	15, 382	28, 290	17, 702	20, 298	38, 000
中国※	外資	41, 817	16, 891	58, 708	37, 538	24, 055	61, 593
	中資	30, 202	16, 005	46, 207	28, 069	16, 148	44, 217
	合計	72, 019	32, 896	104, 915	65, 607	40, 203	105, 810

(※中国は1-12月でミニ含む 出典:中国工程機械工業協会)





【コベルコクレーン】

	2012年度		2013	年度		差 異
		10月公表		今回見通し		
	実績	年度	上期	下期	年度	
		1	実績	見通し	2	2-1
売上高	455	610	255	305	560	△50
経常利益	△22	25	17	13	30	+5

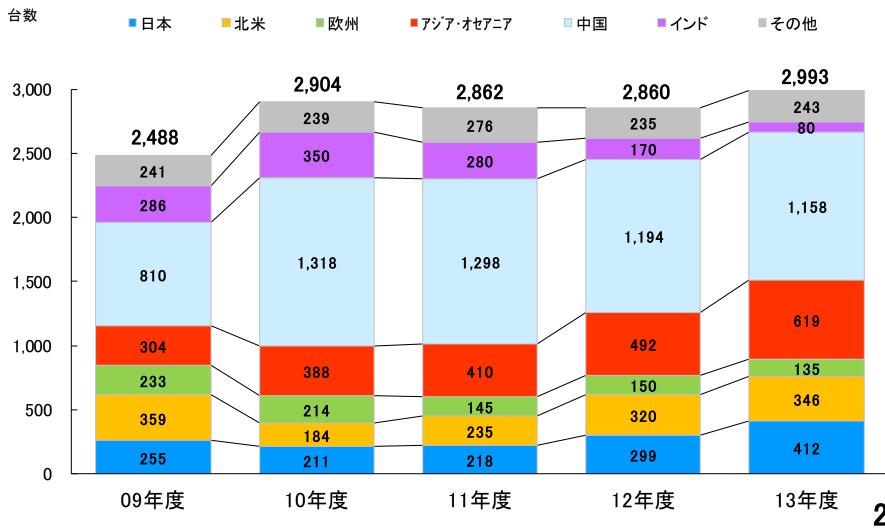
- 国内は、震災復興や公共事業による需要が堅調に推移。
- 海外は、シェールガス開発が拡大する米国や、インフラ開発などが旺盛な東南アジアの需要は堅調に推移するが、インド、中国の需要は低迷。





【コベルコクレーン】

クローラークレーンの世界需要(※当社推定)







	2012年度	10月公表	2013	年度 <mark>今回見通し</mark>		差異
	実績	年度 ①	上期 実績	7回光温し 下期 見通し	, 年度 ②	2 -1
営業キャッシュ・フロー	308	1, 400	742	858	1,600	+ 200
投資キャッシュ・フロー	Δ 1, 230	Δ 600	Δ 83	△ 467	△ 550	+ 50
フリーキャッシュ ・ フロー	Δ 921	800	659	391	1, 050	+ 250
IPP含む フリーキャッシュ・フロー	△ 781	950	757	543	1, 300	+ 350





外部負債残高







くご参考データン





(余 白)





全社 差異内訳【12年度3Q累計 ⇒ 13年度3Q累計】

	20	012年度	i •	2013年度			
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	
経常利益	Δ 110	△ 52	△ 162	431	242	673	
				+8	336 ——		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 225	生産・出荷	△ 50
総コスト削減	+ 175	為替影響	△ 175
鉄鋼在庫評価影響	+ 365		
アルミ銅在庫評価影響	+ 30		
減価償却方法変更	+ 170		
連結子会社・持分法	+ 85		
その他	+ 11		
合計 + 1,	061	合計 /	225





鉄鋼 差異内訳【12年度3Q累計 ⇒ 13年度3Q累計】

	2012年度			2013年度		
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計
経常利益	△ 240	Δ 130	Δ 370	155	130	285
				+	656 ——	\uparrow

増益要因		減益要因	3
原料価格 総コスト削減 在庫評価影響 減価償却方法変更影響	+ 225 + 165 + 365 + 150	生産・出荷 為替影響 その他	△ 45 △ 185 △ 19
合計 +	905	合計	Δ 249





全社 差異内訳【13年度 10月公表⇒今回】

(単位:億円)

2013年度 10月公表

2013年度 今回見通し

	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	431	269	700	431	269	700
					'	<u></u>

増益要因			減益要因			
生産・出荷	+	35	総コスト削減		7	10
原料価格	±	0	連結子会社・持分法	_	Δ	40
鉄鋼在庫評価影響	+	10	為替影響	_	Δ	10
その他	+	15				
合計 -	+	60	合計	Δ	6	0





鉄鋼 差異内訳[13年度 10月公表⇒今回]

(単位:億円)

2013年度 10月公表

2013年度 今回見通し

	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	155	95	250	155	135	290
					+40	\uparrow

増益要因			減益要	因		
生産・出荷	+	25	総コスト削減		Δ	10
原料価格	±	0	為替影響		Δ	10
在庫評価影響	+	10				
その他	+	25				
合計	-	6 0	合計	Δ	2	2 0





全社 差異内訳【13年度上期⇒下期】

(単位:億円)

2012年度

2013年度 今回見通し

 上期
 下期
 年度

 経常損益
 Δ 110
 Δ 71
 Δ 181

上期	下期	年度					
431	269	700					
	Δ162						

増益要因			減益要因	3	
生産・出荷	+	55	鉄鋼在庫評価影響	Δ	140
原料価格	+	75	アルミ銅在庫評価影響	Δ	5
総コスト削減	+	5	連結子会社・持分法	Δ	55
			為替影響	Δ	20
			その他	Δ	77
合計 +	- 1 (3 5	合計	Δ 2	9 7





鉄鋼 差異内訳【13年度上期⇒下期】

(単位:億円)

2012年度

2013年度 今回見通し

 上期
 下期
 年度

 経常損益
 Δ 240
 Δ 261
 Δ 502

上期	下期	年度					
155	135	290					
	L Δ20 →						

増益要因	3		減益要	因
生産・出荷	+	40	在庫評価影響	△ 140
原料価格	+	75	為替影響	Δ 20
総コスト削減	±	0		
その他	+	25		
合計	+ 14	4 0	合計	Δ 160





全社 差異内訳【12年度 ⇒ 13年度】

(単位:億円)

2012年度

2013年度 今回見通し

	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	Δ 110	Δ 71	Δ 181	431	269	700
				+	-881	lack

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 35	為替影響	△ 200
原料価格	+ 255	その他	△ 139
総コスト削減	+ 260		
鉄鋼在庫評価影響	+ 365		
アルミ銅在庫評価影響	+ 30		
減価償却方法変更影響	+ 220		
連結子会社・持分法	+ 55		
合計 + 1,	220	合計 △	339





鉄鋼 差異内訳[12年度 ⇒ 13年度]

(単位:億円)

2012年度

2013年度 今回見通し

	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	Δ 240	Δ 261	Δ 502	155	135	290
				+	792 ——	lack

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 25	為替影響	△ 200
原料価格	+ 255	その他	△ 93
総コスト削減	+ 260		
減価償却方法変更影響	+ 180		
在庫評価影響	+ 365		
合計 + 1,	085	合計	Δ 293





四半期毎の業績推移

		2012年	F度		2013年度				
	1 Q	2Q	3 Q	4Q	1 Q	2Q	3 Q	4Q	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	
売 上 高	4, 341	4, 244	3, 891	4, 378	4, 186	4, 707	4, 359	5,048	
営業損益	△ 27	83	8	47	193	351	310	196	
経常 損益	Δ 104	Δ 5	△ 52	△ 19	171	260	242	27	
特 別 損 益	Δ 141	△ 38	152	△ 43	71	1	61	_	
当期損益	Δ 322	△ 59	155	△ 42	187	254	196	13	





四半期毎の業績推移(セグメント別売上高)

							(————	ויטיו	
	2012年度					2013年度			
	1 Q	2Q	3 Q	4Q	1 Q	2Q	3Q	4Q	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	
鉄鋼	1, 922	1, 913	1, 789	1,802	1,857	2,042	2, 013	2, 088	
溶接	213	206	195	205	204	215	222	219	
アルミ・銅	719	657	613	631	723	757	721	748	
機械	397	411	338	524	315	397	305	532	
エンジニアリング	71	107	92	193	106	101	70	122	
神鋼環境ソリューション	136	155	179	254	139	169	150	221	
コベルコ建機	801	702	572	602	746	883	728	843	
コベルコクレーン	95	125	105	127	115	139	143	162	
その他	139	146	159	287	144	176	167	212	
消去	△156	△181	△155	△251	△167	△177	△163	△92	
合計	4, 341	4, 244	3, 891	4, 378	4, 186	4, 707	4, 359	5, 048	





四半期毎の業績推移(セグメント別経常損益)

	2012年度					20134	年度	
	1 Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
鉄鋼	△189	△50	△130	△131	53	102	130	5
溶接	5	5	△0	11	12	16	20	12
アルミ・銅	17	△4	18	6	53	27	36	14
機械	24	19	35	40	10	10	23	11
エンジニアリング	△5	△2	△2	△2	2	△3	△15	△24
神鋼環境ソリューション	Δ1	4	4	31	Δ1	12	4	10
コベルコ建機	39	17	18	△6	28	73	18	31
コベルコクレーン	△4	△4	△3	△9	8	9	7	6
その他	10	11	15	38	8	15	17	19
消去	Δ0	△2	Δ7	2	△4	△2	0	△52
合 計	△104	△5	△52	△19	171	260	242	27





設備投資の状況

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績①	2013年度 見通し②	差異 ②-①
設備投資<計上>_	913	<u>9</u> 60	1,149	<u>1,100</u>	△49
対減価償却費	80%	81%	108%	129%	_
" (IPP除く)	909	957	1,146	1,085	△61
設備投資<支払い>	<u>966</u>	8 <u>32</u>	<u>1,0</u> 95	<u>9</u> 50	<u> </u>
対減価償却費	84%	71%	103%	112%	_
ッ (IPP除く)	963	830	1,091	937	△154
減価償却費	1,148	1,180	1,067	850	△217
〃 (IPP除く)	1,049	1,091	979	760	△219





企業理念

- 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
- 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
- 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。





将来見通しに関する注意事項

- ・ 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- · 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料のアベイラビリティや市況
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化